

### 【短報】石垣島におけるチュウガタマルケシゲンゴロウの初記録

チュウガタマルケシゲンゴロウ *Hydrovatus remotus* Biström & Watanabe, 2017 (以下チュウガタと記す) は、西表島から記載されたマルケシゲンゴロウ属の種である (Biström & Watanabe, 2017). これまでタイプロカリティを含めた西表島の3箇所から発見されていたが (Biström & Watanabe, 2017), 筆者らは、未記録であった石垣島から本種を確認しているため、同島初記録として報告する。

報告に先立ち、石垣島の環境についてご教示いただいた東海大学の北野忠教授、仲介の労を賜った日本甲虫学会会員の稲畑憲昭氏に深謝申し上げます。

1ex., 沖縄県石垣市名蔵, 3. XI. 2012, 戸田尚希採集; 57exs., 沖縄県石垣市宮良, 17. V. 2017, 渡部晃平採集 (図1); 4exs., 同所, 17. V. 2017, 福富宏和採集; 6exs., 沖縄県石垣市伊原間, 18. V. 2017, 渡部晃平採集。

石垣島産のチュウガタは、筆者の一人戸田の個人コレクションおよび2017年に渡部と福富が実



図1. 石垣島産チュウガタマルケシゲンゴロウ雄.



図2. 石垣島の生息環境 (石垣市伊原間) .

施した現地調査において発見された。現地調査では、ため池からのみ確認され、チュウガタの生息地のうち石垣市宮良ではコマルケシゲンゴロウ *H. acuminatus* Motschulsky, 1859 (以下コマルケシと記す), サメハダマルケシゲンゴロウ *H. stridulus* Biström, 1997 (以下サメハダと記す), オオマルケシゲンゴロウ *H. bonvouloiri* Sharp, 1882 (以下オオマルケシと記す), 石垣市伊原間ではコマルケシとオオマルケシが同所的に確認された。コマルケシ, サメハダ, オオマルケシは Biström & Watanabe (2017) に記された既知産地でも同様に確認されていることから、これら4種の生息環境は類似している可能性が考えられる。一方で、水田跡地に水が溜まってできた浅い湿地や遷移が進んだ耕作放棄地などの環境下では、コマルケシおよびサメハダが確認された場所においても、チュウガタは確認されなかった。筆者の一人渡部が確認している西表島のチュウガタの生息環境との共通点から推測すると、チュウガタは、オオマルケシとともにコマルケシやサメハダに比べてより水深が深い環境を好んでいるものと考えられる。

また、稲畑 (2016) で記録されていた西表島産のマルケシゲンゴロウ *H. subtilis* Sharp, 1882 (以下マルケシと記す) の雌がチュウガタであったこと (Biström & Watanabe, 2017) や、本州の石川県産のマルケシとされていた標本の大半がサメハダの誤同定であったこと (渡部ほか, 2016; 渡部, 2016) などの事例が報告されていることから、石垣島においても過去にマルケシとして報告された記録については精査する必要があると考えられる。

### 引用文献

- Biström, O. & K. Watanabe, 2017. A new species of the genus *Hydrovatus* (Coleoptera, Dytiscidae) from Iriomote Island, Southwestern Japan, with a key to the Japanese Species. *Elytra*, Tokyo, New Series, 7 (1): 5–13.
- 稲畑憲昭, 2016. サメハダマルケシゲンゴロウの日本からの初記録. さやばねニューシリーズ, (21): 46–47.
- 渡部晃平, 2016. 石川県におけるマルケシゲンゴロウ属の分布. さやばねニューシリーズ, (24): 53–56.
- 渡部晃平・富沢 章・稲畑憲昭, 2016. 本州におけるサメハダマルケシゲンゴロウの初記録. さやばねニューシリーズ, (23): 15–16.

(渡部晃平 920-2113 白山市八幡町戊3番地  
石川県ふれあい昆虫館)  
(戸田尚希 457-0001 名古屋南区平子2-24-16)  
(福富宏和 石川県ふれあい昆虫館)